

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

## 令和2年 1月のHPきごころ通信 (先月の話題)

### 目次

- (1) ながら運転厳罰 違反点数・反則金3倍に
- (2) ビル設備の故障 鹿島がAI予測 日本マイクロソフトと連携
- (3) アマゾン「置き配」全国で 再配達
- (4) SDGsの先見据え 万博具体化 急ピッチ
- (5) 大阪駅西側 開発に弾み 新駅ビル、市が議論へ
- (6) 40~64歳の引きこもり 全国に61万人 相談窓口 整備急ぐ
- (7) ネットで知り合い「会った」20.7% 10~18歳の男女618人
- (8) 加熱式たばこ リスクに警鐘 健康への影響 未知数
- (9) 信号ない横断歩道で停車する割合 「教育県」長野が断トツ
- (10) 窓と太陽電池一体開発 ビル省エネ化 大成建設とカネカ
- (11) 万博 2025年4月13日~10月13日
- (12) 建設の就労環境 点検義務付け 特定技能外国人で大手に
- (13) 小5男子の体力 最低に スマホや猛暑影響か
- (14) 月に1冊読書せず 半数 20~60代 紙の書籍離れ進む
- (15) 出生数最少 86.4万人 2019年人口推計
- (16) 学童の待機児童 最多 18,261人 女性の就業増で
- (17) 建築ガラス「生産再編必要」
- (18) 高齢の親世代「運転が不可欠」8割

### (1) ながら運転厳罰 違反点数・反則金3倍に

\*スマートフォンなどを使用しながら車を走行する「ながら運転」が大幅に厳罰化。

\*違反点数や反則金を約3倍に引き上げ、懲役刑も重くなります。

\*携帯電話での通話や画面を注視する「携帯電話使用等（保持）」の点数を1点から3点に、通話や注視で交通の危険を生じさせる「携帯電話使用等（交通の危険）」を2点から6点に引き上げ。

\*「保持」の反則金は、普通車で6000円から18000円に引き上げ。

\*「交通の危険」は直ちに刑事手続きの対象。1年以下の懲役または30万円以下の罰金。

(2019年12月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

## (2) ビル設備の故障 鹿島がAI予測

### 日本マイクロソフトと連携

- \*鹿島は日本マイクロソフトと連携し、11月から空調や照明などビル設備の故障や異常の発生を事前に予測するサービスを始めました。
  - \*鹿島は中央管理室に集約したデータを、クラウド上で管理できるシステムを開発。
  - \*AIを使って解析し、将来の異常発生を予見。
  - \*外部の情報も取り込み、数日先までの電力使用量も予測。
  - \*AIが建物ごとに予測モデルを作成。
- (2019年12月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (3) アマゾン「置き配」全国で 再配達

- \*アマゾンジャパンは2020年に、希望者に対してネット通販の荷物を玄関前までに置く「置き配」を全国展開。宅配3位の日本郵便と連携。
  - \*置き配は、ネット通販市場が日本の5倍の米国、14倍の中国では一般的。
  - \*盗難や破損があれば、アマゾンジャパンが消費者に商品の再送や返金などで対応。
  - \*2018年度の日本全体での宅配便の取扱数は約43億個。4年連続で過去最高を更新。
  - \*2019年4月のヤマト運輸、佐川急便、日本郵便の大手3社の再配達率は16%と、前年から1ポイント上昇。
- (2019年12月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(4)  SDG s の先見据え 万博具体化 急ピッチ

大阪・関西万博	
会期	2025年5月3日～11月3日（数週間前倒しを検討）
会場	人工島・夢洲（大阪市此花区）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	「多様で心身ともに健康な生き方」「持続可能な社会・経済システム」 （「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」への変更を検討）
コンセプト	未来社会の実験場
来場者数	約2800万人（想定）
参加国	150カ国（想定）
経済波及効果（試算値）	約2兆円

（2019年12月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(5)  大阪駅西側 開発に弾み 新駅ビル、市が議論へ  
新たな人の流れ 期待

- \* JR大阪駅の西側に新しい駅ビルの建設計画。
- \* 貨物駅跡を活用した約17ヘクタールの大規模再開発で、2024年にまちびらきを予定。
- \* JRの線路を挟んで南側では、大阪中央郵便局跡の再開発計画。2024年に40階建て高さ188Mの複合ビルが完成し、商業施設やホテル、劇場などが入る見込み。

（2019年12月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

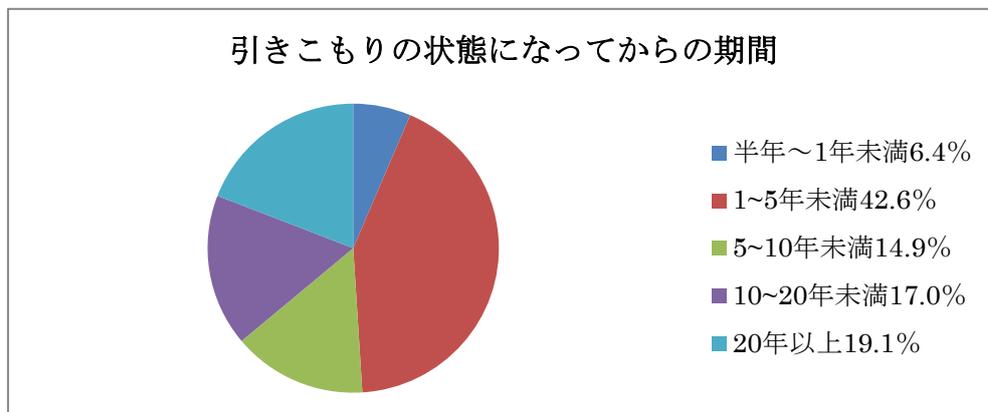
(6)  40~64歳の引きこもり 全国に61万人

相談窓口 整備急ぐ

- \* 40~64歳で引きこもっている人は全国で推計61万人。
- \* 厚生労働省の有識者会議は、80代の親が50代の引きこもりの子の面倒を見る「8050問題」などに対処するため、自治体の窓口を一本化すべきだと

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

する最終報告書をまとめました。



(2019年12月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (7) ネットで知り合い「会った」 20.7%

### 10～18歳の男女 618人

\*情報セキュリティの「デジタルアーツ」が4月、スマートフォンや携帯電話を持つ10～18歳の男女618人を対象に実施したアンケート。

\*SNS（交流サイト）やインターネットで知り合った人に「会った」と答えた割合は20.7%。

\*「会いたい」「会っても良い」を含めると5割超。

(2019年12月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (8) 加熱式たばこ リスクに警鐘

### 健康への影響 未知数 ニコチン濃度、紙巻と同程度

\*たばこを毎日吸うと答えた人は16.6%。男性では27.8%。

\*喫煙時の室内ニコチン濃度の測定値は、紙巻の1M3あたり1000～2420マイクログラムに対し、加熱式は26～257マイクログラム。

\*喫煙者が吸う「主流煙」に含まれるニコチンは、製品によっては紙巻より加熱式のほうが濃度が高いものがありました。

\*最近加熱式を吸ったと答えた人のうち、約7割が紙巻も併用。

(2019年12月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(9)  信号ない横断歩道で停車する割合

「教育県」長野が断トツ

\*信号がない横断歩道では停車して、歩行者を優先させるのが交通ルールの常識。

\*日本自動車連盟（JAF）の2019年の調査で、「停車する」と回答した運転手は全国平均17.1%。最も高いのは長野県の68.6%。最低は三重の3.4%。

\*長野県では幼少期の交通教育を充実。

\*「道路を横断するときは手を挙げる」「渡った後は運転手に会釈する」といったマナーについて、自動車業界団体などが幼稚園に出向いて教えています。

\*大都市圏と比べて信号のない横断歩道が多いことも、停車する割合の高さの要因の一つ。

停車する割合が高い地域（2019年）

順位	都道府県	割合 (%)
1	長野	69
2	静岡	53
3	兵庫	43
4	島根	41
5	新潟	36



(2019年12月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(10)  窓と太陽電池一体開発 ビル省エネ化

大成建設とカネカ

\*大成建設とカネカは共同で、窓と太陽電池が一体になった製品を開発。

・短冊状に細く切った太陽電池を間隔をあけて並べ、ガラスで挟みました。

・太陽光の約50%を室内に通しつつ、発電も。

\*外壁材と太陽電池が一体になった製品も開発。

\*価格は窓と太陽電池を別々に取付ける場合に比べて同等か安くなります。

\*窓と一体型の製品は太陽光を電気に変える効率が約10%と、通常の太陽電池の半分程度。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

\* 停電対策など企業の事業継続計画（BCP）の需要も。  
(2019年12月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (11) 万博 2025年4月13日～10月13日

### 政府決定 機運醸成など課題

\* 2025年国際博覧会（大阪・関西万博）の開催期間が、4月13日から10月13日に決まりました。

\* 1970年大阪万博はアジア初の万博として、国内外から約6400万人が来場。

\* 国内総生産（GDP）に占める関西の地域総生産の割合は、1970年の20%程度から現在は15%まで下がりました。

(2019年12月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (12) 建設の就労環境 点検義務付け

### 特定技能外国人で大手に

\* 国土交通省は特定技能制度で来日した建設分野の外国人の失踪や不法就労を防ぐため、工事の元請けとなる大手建設会社に就労環境の点検を義務付けます。

\* 建設業界に技能実習生として来日した外国人の場合、2018年度に約3600人が失踪。技能実習の失踪者全体の約4割。

\* 人手不足が深刻な建設業界は、今後5年間で最大4万人の受け入れを想定。

(2019年12月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (13) 小5男子の体力 最低に スマホや猛暑影響か

\* スポーツ庁は、小学5年と中学2年の全員を対象にした2019年度の全国体力テストで、全8種目の合計点の平均値が小中とも前年度より下がったと発表。

・特に、小5男子は2008年度の調査開始以来最低。

\* スマートフォンの視聴時間増加といった生活習慣の変化や、猛暑で屋外での運動をしにくくなったことなどが複合的に影響。

\* 女子より男子の低下幅が大きくなっています。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2019年12月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(14)  月に1冊読書せず 半数 20~60代

紙の書籍離れ進む 国立青少年教育振興機構調査

\*全年代を合わせ、1か月に本を全く読まないとした人は49.8%。2013年は28.1%。

\*全く読まないとした人が特に増えたのは20代で52.3%。30代は64.4%、60代は44.1%。

\*電子書籍を読む人の割合は19.7% (2013年で8.5%)。

\*紙、電子書籍とも、本を読む人の方が自己理解力や批判的思考力などが高い傾向。

(2019年12月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(15)  出生数最少 86.4万人 2019年人口推計

自然減は最多 51万人

\*2019年の人口動態統計の年間推計で、日本人の国内出生数は864000人。前年比5.92%減と急減。

\*出生数が死亡数を下回る人口の「自然減」は512000人。

\*出生数が86万人台となるのは2021年と予測されていましたが、2年早まりました。

\*婚姻件数は前年比0.59%減の583000組。

\*令和になった5月の婚姻件数は対前年同月比約2倍。

(2019年12月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(16)  学童の待機児童 最多 18,261人

女性の就業増で

\*放課後児童クラブ(学童保育)で、定員超過などで入れない待機児童は2019年5月時点で18,261人、過去最多を更新。

・前年比982人増で、2018年の増加数(109人)の約9倍。

\*女性の就業率上昇でニーズが急増。

\*全国の施設数は25,881箇所(前年比553カ所増)、利用児童数は1,299,307

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

人（同 64,941 人増）で、ともに過去最多を更新。

（2019年12月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

## (17) 建築ガラス「生産再編必要」

### AGC、セントラル硝子と事業統合へ

\*ガラス国内最大手のAGC（旧旭硝子）と同3位のセントラル硝子が2020年末をめどに、国内の建築用ガラス事業を統合。

\*ガラスは生産設備の維持更新コストが重いため。

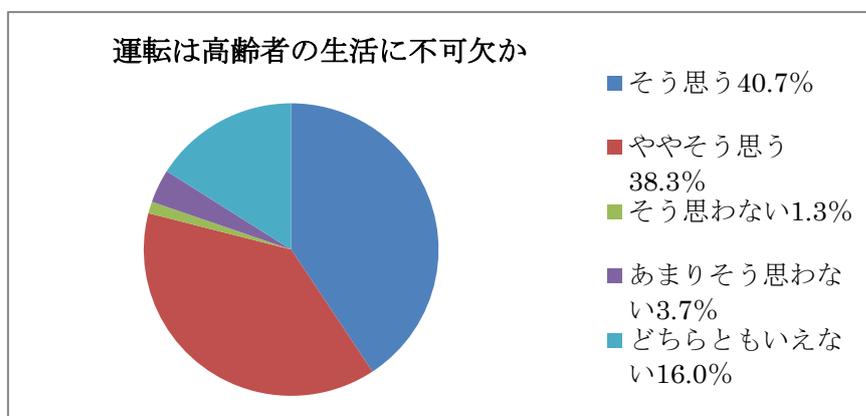
（2019年12月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

## (18) 高齢の親世代「運転が不可欠」8割

\*高齢の親世代の日常生活に自動車の運転は不可欠か。40~50代の男性300人を対象に調査。

\*両親の運転については64%が「不安を感じたことがある」。

\*そのうち40.1%が「今後も運転を続けるか話し合ったことがない」。



（2019年12月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

